



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：地域活動支援センター ベーカリーウィズ

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

- ・知的障がい者の親の集りから働きがいのある職場を作りたいとの声があり、希望をかなえたいと考えた。
- ・NPO法人を設立して、パン製造販売事業を開始した。

2. 障害のある人が従事している主な業務

- ・個人各々の能力は様々なので、障害のある人の特性に合った働き方をしている。
- ・パン製造補助、パン包装、パン販売補助、焼き菓子製造補助、洗い場担当等

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

- ・障がいのある人を受け入れるにあたって、どのような支援ができるかを職員の間でよく話し合った。
- ・その都度起こる様々な問題について、情報を交換し、理解を深めるために定期的に打合せを行っている。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・仕事の都合優先ではなく、働く者の都合優先にしている。勤務時間や仕事の内容はできる限り本人の希望に沿えるようにしている。
- ・年1回の健診は事業所が費用を負担して行い、結果をフォローして健康管理にも配慮する。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（千葉県障害者就労事業振興センター、でいさくさべ）

活用して良かった点

- ・地域活動支援センター事業を認可してもらう上で助言、指導をいただいた。
- ・でいさくさべからは実際に雇用する上で紹介していただいた。また、障がい者と接する上での相談に乗っていただいている。